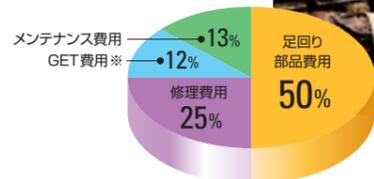


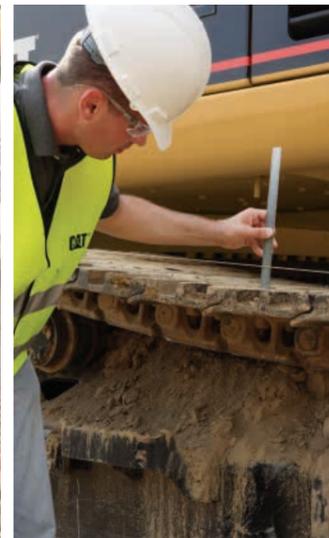
## see more プロサポ

## 足回り部品の費用低減

足回り部品は、人間にとって「靴」に当たる部分です。機種によって、走行が多いものもあれば、少ないものもありますが、走行作業が多いブルドーザの場合、生涯コストの約50%を足回り部品費用が占めるとわれています。機械コストの節約は足元から。今回は、足回り部品の費用低減に役立つメンテナンスや運転のポイントをご紹介します。

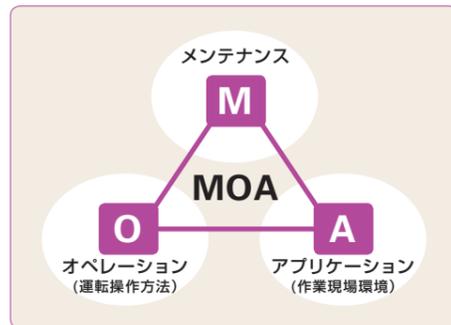


■ブルドーザ生涯コスト内訳  
※チップなどの消耗品



## 「MOA」の最適化で、足回り部品費用を低減

長期にわたって機械を安定的に稼働させながら、足回り部品の費用を効果的に節約するためには、MOA—すなわちメンテナンス(M)、オペレーション(O)、アプリケーション(A)を適切に実施することが大切です。この3要素をしっかり行わないと、Cat純正足回り部品が本来持っている性能を十分に発揮することができなくなります。



## 足回り部品を3タイプご用意しています！

Catの新車および部品には1年間の保証が付いています。特に足回り部品は、1年間を超えた場合も摩耗状況によっては保証の対象となります。

システム・ワン(耐摩耗性)…………… 6,000時間 または4年  
ヘビー・デューティ(耐摩耗性と高速走行)…………… 4,000時間 または4年  
ジェネラル・デューティ(次ページ参照)…………… 3,000時間 または4年  
※いずれか早い方が適用されます。※ワランティのため加入料金は必要ありません。

## お気軽にご相談ください！

キャタピラーの特約販売店では、お客様の足回り部品をプロのメカニックが診断し、寿命延長のためのアドバイスを提供する無料のサービスプログラム「CTS(カスタムトラックサービス)」をご用意しています。300時間または3ヵ月毎のCTS実施をお勧めします。また、MOA診断をはじめ、足回り部品の性能を最大限に発揮し、最小のランニングコストを実現するための各種サービスプログラムもありますので、お気軽にご相談ください。

## M 適切なメンテナンス

より少ないランニングコストで足回り部品の寿命を最長化するためには、適切なメンテナンスの実施が欠かせません。これは、走行作業が少ない機械の代表格である油圧ショベルにおいても同様です。油圧ショベルは、その場での旋回作業が多く、あまり走行しないので足回り部品の点検は“不規則の整備”となっています。ここでは、日常点検の際に確認すべき「足回りの張り調整」について、油圧ショベルの点検を例としてご紹介します。

## ① 点検：張り具合を確認する！

- 1 アイドラからキャリアローラまで届く角材などをトラックの上に置く。
- 2 トラックシューラグと角材の間隔が40~55mmであればOK。

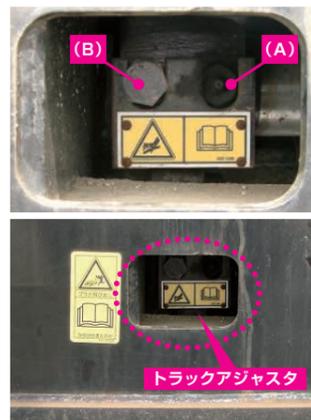
※この範囲を外れていた場合は早急な調整が必要です。



## ② 調整：トラックの張りを調整する！

## トラックを張る場合

- 1 給脂(A)を清掃し、グリースを注入します。
- 2 徐々にトラックが張るので、正しい寸法になるようにグリースを注入。
- 3 左右のトラックの張りを均等にするため、機械を前後進させる。
- 4 その後、もう一度角材を置き、張り具合を確認。



## トラックを緩める場合

- 1 ボックスレンチを使い、アジャスタのリリーフバルブ(B)を最大1回転ゆっくりと緩めてグリースを逃がし、張りを適正に調整。  
※圧力のかかったグリースが飛び出す場合があるので、顔を近づけないでください。
- 2 リリーフバルブを取扱説明書に記載されているトルクで締め付ける。

## O 適切なオペレーティング

取扱説明書に記載されている通り、建設機械にはそれぞれに適したオペレーティング(運転操作方法)があり、それらを正しく守ることで足回り部品の寿命の延長を図ると共に、作業の安全性と効率を向上させることができます。

## オペレーティングのポイント

## ●ブルドーザ

ブルドーザは、前進より後進の方がスプロケットとブッシュの摩耗が早いので、後進の3速は使用しないことをお勧めします(落石回避などの緊急時は除く)。また、車重を利用できることから下り坂での作業が効率的で、後進2速で楽に戻れる勾配角度が最適です。



## ●油圧ショベル

油圧ショベルは、イドラをキャブ前方にした姿勢で走行することをお勧めします。この姿勢は作業時にも足回り部品への負荷を最も低くすると共に安全性の高い姿勢となります。キャブ前方に対してトラックを横向きにした状態や、ファイナルドライブを前方にした状態で掘削を行うことは、車両の安定性を低下させ、足回り部品の劣化を早める原因にもなります。



## A アプリケーションへの適切なマッチング

キャタピラーは、お客様の作業現場環境や用途に合わせて、さまざまなラインアップの足回り部品をご用意。トラックシューだけでも11種類以上を取り揃えています。すべての足回り部品は厳しい品質基準を満たすように製造されていますが、“適材適所”という言葉があるように、作業現場環境に適合した足回り部品を選定しないと、本来の性能や耐久性を発揮することができません。ここでは、お客様のアプリケーションにマッチした足回り部品の選定をご紹介します。

## リペアオプション「システム・ワン」の使用(例)

テスト機種：中型ブルドーザ 従来型とシステム・ワンの寿命比較

お客様業種：廃棄物処分場

比較アイテム：従来型(密封)

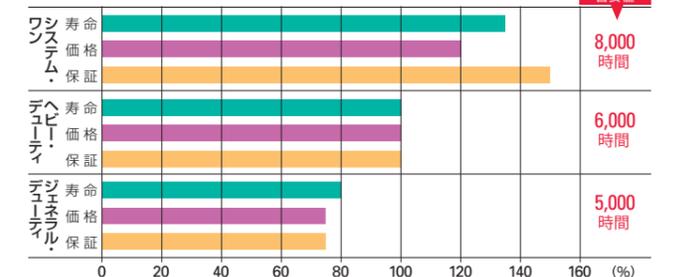


## リペアオプション「ジェネラル・デューティ」の使用

適した稼働条件：軽~中衝撃性の現場で低稼働

特徴：低負荷で稼働の少ない車両向けCat純正足回り部品。製品寿命は短く、ヘビー・デューティの80%(目安)で履きつぶしとなるが、ヘビー・デューティの約75%という低価格で購入できるメリットがある。

## リペアオプションの比較



## 「ジェネラル・デューティ」使用推奨(D6を想定)

- 大きな衝撃のない現場
- 交換後のリンク使用寿命が5,000時間未満
- 目安として年間稼働時間1,500時間未満の車両
- 傾斜地での作業が全体の25%以下

足回り部品の選定についてご不明な点がありましたら、担当セールスマンまたは最寄りの販売店にご相談ください。